

厚岸町海事記念館通信

発行 厚岸町海事記念館

〒088-1151 厚岸町真栄3丁目4番地

TEL & FAX 0153-52-4040

<http://www.town.akkeshi.hokkaido.jp/kaiji>

No.37

2012年10月発行

「平成24年度古文書教室を開催します」

10月13日(土)古文書教室を開催します。皆さまのご参加お待ちしております。
なお、本講座は道民カレッジ連携講座となっております。

- 日 時:10月13日(土)10:00~11:30
- 内 容:「蝦夷地寺院の格式を読む」
*題材は「日鑑記」(国指定重要文化財「蝦夷三官寺国泰寺関係資料」)を解説します。
- 場 所:海事記念館1階会議室
- 申込期間 :10月8日(月)まで
- 参加人数 :15人(応募多数の場合は抽選となります)
- 参加料 :無料
- 申込先 :海事記念館 0153-52-4040



ほしぞら教室を開催します

10月17日(水)太田小学校グラウンドで「秋のほしぞら教室」を開催します。今年もカシオペヤ号や天体望遠鏡で、秋の夜空を観察しますので、ぜひご参加下さい。

- 日 時:10月17日(水)19:00~19:45
(天候不順により観察不可能の場合は18日(木)に順延)
- 場 所:太田小学校グラウンド
- 対 象:厚岸町民
(中学生以下は保護者同伴)
- 参加料 :無料
- 申込期間 :10月14日(日)まで
- 申込先 :海事記念館 0153-52-4040



子どもの文化財愛護活動推進事業 平成24年度考古学出前講座「まが玉を作ってみよう」 開催しました！！

平成24年8月18日(土)考古学出前講座「まが玉を作ってみよう」が開催されました。当日は15名の小学生と保護者が参加してくださいました。まず、道立文化財保護協会の高久氏から文化財についてのお話を聞いた後、まが玉づくりを始めました。道立埋蔵文化財センターの倉橋氏の指導の下、石を削ったり磨いたりして、みんな一生懸命にまが玉を作りました。



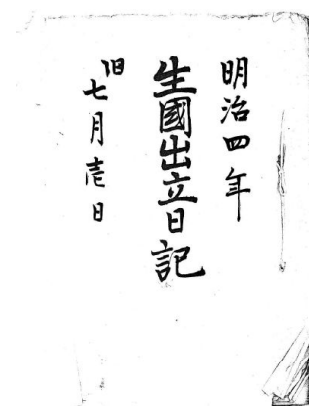
佐賀と厚岸の関係～『生国出立日記』について

先日佐賀県吉野ヶ里町教育委員会から、明治期に当町に移住した内田伊七について何か資料がないかとの問い合わせがありました。内田伊七とは佐賀藩領期の終わり頃であった明治4年(1871)に当町に移住した人物です。出身地が上東郷下石動村(現在の吉野ヶ里町下石動)で、地元ではよく知られているようです。そこで、この度「北海道開拓に果たした佐賀藩や佐賀県の人々」というテーマで講演会をするにあたり、その中で内田伊七についても触れるとのことで、問い合わせがきたというわけです。佐賀藩領期の資料は当町にはあまり残っていませんが、内田氏が移住の様子を記録した「生国出立日記」という史料があります。(現在展示していませんが、内容を知りたい方は「新釧路市史 第4巻」に書き下したものが書かれておりますので、そちらをご覧ください。)

佐賀藩領期は明治2年(1869)から5年(1870)までという短い間でしたが、開拓使で北海道の開拓に尽力した長官の元佐賀藩主・鍋島直正(閑叟)、「北海道開拓の父」と呼ばれた島義勇、当町では明治期の発展に尽力した中元寺清七・中川喜三郎ら、いずれも佐賀藩士や佐賀県出身の方々でした。このように明治初期に活躍した人材を見ても厚岸のみならず北海道と佐賀はとても縁があることがわかります。姉妹都市のクラレンス市や友好都市の山形県村山市との関係は知られていますが、佐賀のように実は他にも歴史的に関係の深いところがまだまだあるのです。



北海道神宮にある「島義勇」の銅像



生国出立日記(海事記念館蔵)